

第3学年 国語科学習指導案

日 時 平成30年11月30日(金) 9:30～
場 所 浜田市立浜田東中学校 3年1組教室
授業者 福田 由紀

1 単元名

災害時における情報の意義とメディアの役割について考える
～比較読みをして自分の意見をもつ～

2 単元のねらい

- 文章に関心をもち、進んで比較して読み、災害時における情報の意義とメディアの役割について自分の意見をもとうとする。【国語への関心・意欲・態度】
- 文章を比較して読み、発信者の視点や立場をとらえ、根拠を明確にして、災害時における情報の意義とメディアの役割について自分の意見をもつことができる。【読む能力】
- 文章に用いられている漢字を正しく読んだり書いたりすることができる。【言語についての知識・理解・技能】

3 単元の評価規準

国語への関心・意欲・態度	読む能力	言語についての知識・理解・技能
文章に関心をもち、進んで比較して読み、災害時における情報の意義とメディアの役割について自分の意見をもとうとしている。	文章を比較して読み、発信者の視点や立場をとらえ、根拠を明確にして災害時における情報の意義とメディアの役割について自分の意見をもっている。(エ)	文章に用いられている漢字を正しく読んでいる。(ウ(ア))

4 単元設定について

本単元は、「読むこと」の指導事項「エ 文章を読んで人間、社会、自然などについて考え、自分の意見をもつこと」に対応している。言語活動として、学習指導要領の言語活動例「イ 論説や報道などに盛り込まれた情報を比較して読むこと」を踏まえ、「同じ出来事について書いた新聞記事を比較し、述べられている内容について、書き手の視点や立場をとらえ、自分の考えを意見交換してリーフレットにまとめる」という活動を行う。教科書教材である「いつものように新聞が届いたメディアと東日本大震災」は、東日本大震災時に東北の地方新聞社が、情報通信手段を失った被災者の心と生活とを支える確かな情報を、使命感をもって伝え続けている様子が書かれている。情報を発信する立場である記者の意図や願いに寄り添いながら読むことで、自分たちが日頃、受信者として受け取る情報の背後にある発信者の思いを想像したり考えたりすることができる教材である。また、本文の他に、東日本大震災時の情報伝達に関する6つのエピソードもあり、災害時における情報の価値や伝わり方、メディアの役割についてさまざまな視点から考えさせることができる。また、地方紙と全国紙の報道の違いなどにも触れられており、立場の違いにより発信者が伝えたいことの違いが記事に現れていることや情報の取捨選択についても考えさせることができる教材である。

<個人情報保護のため省略>

地震発生時、生徒たちは小学校低学年であり、当時のニュースなどはあまり覚えていないと考えられる。そこでまずは映像で当時のニュースや被害状況などを見せることで、視覚的に理解を促す。また、生徒たちは10月にPTA講演会で防災士の方から災害時にどう行動すればよいのかという話を聞いたり、11月には人権集会で、東日本大震災のときにボランティアをされていた方の講演会を聞いたりしているため、それらと関連付けて考えさせることができると考える。それによって、教科書教材に出てくる実在の新聞社（河北新報）の記者の思いを実感として捉えやすくなると考える。そして教科書教材から、地方紙の役割と全国紙の役割との違い、被災者である河北新報の記者の意図や心情がどのような記事や表現につながっていったのか、さまざまなメディアの違いなどを読み取る。その際には、生徒自身の気づきを大切に、ワークシートを使って考えを整理させたい。学習活動の終わりには、リーフレットに自分の考えをまとめることで、その時間の学びの振り返りとした。2学年のときに「文章に表れているものの見方や考え方について、知識や体験と関連付けて自分の考えをもつこと」について学習したことを踏まえ、この単元では自分の立場や根拠を明確にして「意見をもつ」ということをねらいとしている。そこで、グループで意見交換をする際には、ワークシートや新聞記事を使い、どの部分を根拠にしてそのような意見を述べているのかということを示しながら伝えさせる。さらに、教科書教材だけではなく、実際に、全国紙と地方紙（河北新報）の東日本大震災直後の記事と数日後の新聞記事とを資料として読み、比較することで、より深い理解につなげたいと考える。さらに、自分の興味に沿った災害に関する図書資料を並行読書し、単元をとおしてリーフレットにまとめ、自分の学びの広がりや深まりが意識できるように可視化していく。リーフレットは「単元の最初に設定した個人の課題・教科書教材・新聞の比較・自分が興味をもって読んだ図書資料・最終的に自分が考えたこと」の五つの構成要素で作成する。グループでの意見交換はメンバーの組み合わせを変えながら、5人単位の小グループで行う。具体的には、本時では3月12日と14日の地方紙と全国紙と壁新聞とを比較する。それによって、同じ出来事でも発信者の立場によって見出しの表現の仕方や数日経ったあとの新聞記事が占める割合が違ったり、読者のニーズによって情報を取捨選択している記者の意図などにも気づかせたい。また、壁新聞は、具体的な市役所での炊き出しの情報など、より身近な範囲の読者のニーズに応えようとしていることがうかがえる。まずは同じ記事を比較した者同士のグループで互いの気づきを共有し、そのあとに違う記事を比較した者同士で交流する。そのように、様々な記事を比較することで多角的に情報の意義やメディアの役割について考えさせたい。

5 単元の指導計画と評価計画（全6時間）

次	時	目標	主な学習活動	評 価			
				国語	読む	言語	評価規準（評価方法）
1次	1	○単元の見通しをもち、文章の内容を大まかにつかむとともに漢字や語句を確認する。	①既習の学びを想起する。 ②東日本大震災について知っていることを発表し、映像を観る。 ③通読し、内容をつかむ。 ④災害時におけるメディアについて今後考えてみたいことや注目したいことを書く。 ⑤単元の流れを確認する。			○	【言】文章に用いられている漢字を正しく読んでいる。（観察・ワーク）
2次	2	○災害時における情報の意義とメディアの役割について、読み取ったことをもとに交流をとおして考えを深める。	①読解マップに読み取ったことをまとめる。 ②グループで意見交換しながら読みを深める。 【ワールドカフェ方式】 ③読み取ったことや考えたことをもとにリーフレットを書く。	○	○		【読】根拠を明確にして自分の考えをまとめている。（観察・ワークシート） 【国】交流で読みを深めようとしている。（観察・読解マップ）
	3			4	○	○	【読】地方紙と全国紙とを比較し、災害時における情報の意義とメディアの役割について自分の意見をもっている。（観察・新聞記事）
	5 〔本時〕	○地方紙と全国紙とを比較し、災害時における情報の意義とメディアの役割について自分の意見をもつ。	① 同日（3/12と3/14）の地方紙と全国紙の記事を読み、相違点や発信者の意図について気づいたことを記入する。（グループによって比較する新聞記事の組み合わせを変える。） ②個人→グループ（同じ記事）→グループ（違う記事）→全体の流れで意見交換をする。 ③交流をふまえて考えたことをリーフレットに書く。				
3次	6	○メディアの種類や発信者の立場による情報の選択や情報の伝わり方も考え、リーフレットに意見をまとめる。	①並行読書してきた本をもとにリーフレットに自分の考えを書き、完成させる。 ②リーフレットを見合う。 ※ 後日、読んだ本と一緒に校内掲示する。	○		○	【国】メディアの種類や発信者の立場による情報の選択や情報の伝わり方も考え、テーマについての意見を書いている。（観察・リーフレット） 【言】文章に用いられている漢字を正しく書いている。（リーフレット）

味見読書をして本を選び、並行読書を行う



6 本時の学習（第2次 5時間目）

(1) 本時のねらい

○地方紙と全国紙とを比較し、災害時における情報の意義とメディアの役割について自分の意見をもつ。【読む能力】

(2) 本時の展開

学習活動	教師の支援	評価 (評価方法)
<p>本時のめあてと活動の確認をする</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>さまざまな意見を踏まえ、災害時における情報の意義とメディアの役割について自分の意見をもつ。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・前時までに個人で新聞記事に書き込んだことをグループで意見交換することで、テーマについて考えていくことを確認する。 	<p>☆【読む能力】 地方紙と全国紙とを比較し、災害時における情報の意義とメディアの役割について自分の意見をもっている。(観察・新聞記事・リーフレット)</p>
<p>同じ記事のグループで意見交換（15分）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新聞記事を貼った模造紙に、自由に書き込みながら自分の意見を伝える。 <p><各グループで比較する新聞記事></p> <ul style="list-style-type: none"> ・3月12日の地方紙と全国紙の比較 ・3月14日の地方紙と全国紙の比較 ・3月12日の全国紙と3月14日の全国紙の比較 ・3月12日の地方紙と3月14日の地方紙の比較 ・3月12日と3月14日の壁新聞と3月14日の地方紙との比較 	<ul style="list-style-type: none"> ・他のグループの人たちに自分たちのグループの意見を伝えるために、メモを取りながら聞くことを確認する。 	
リーダー以外のメンバーは別のグループに行く。		
<p>違う記事のグループで意見交換（15分）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リーダーはグループの意見を説明する。 ・それぞれが自分のグループで出た意見を伝え、模造紙に書き込んでいく。 ・模造紙への書き込みをもとに、テーマについて考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ホワイトボードに、テーマについての自分たちの意見を書き、黒板に貼って発表することを確認する。 	
全体交流～各グループで出た意見を発表する。(1分×5グループ)		
<p>振り返り（個人）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交流を踏まえた自分の意見を、リーフレットに書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えの深まりや広がりをおおむね満足できると判断される生徒の具体例 	

(3) 本時の評価

	十分満足できると判断される生徒の具体例	おおむね満足できると判断される生徒の具体例	支援を必要とする生徒への指導の手立て
読む能力	地方紙と全国紙とを比較し、教科書教材での学びや交流を踏まえて、災害時における情報の意義とメディアの役割について複数の観点を根拠として自分の意見をもっている。	地方紙と全国紙とを比較し、教科書教材での学びや交流を踏まえて、災害時における情報の意義とメディアの役割について自分の意見をもっている。	新聞記事への記述をもとに観点を一つに絞らせ、それについて自分はどう思うかを考えさせる。

